

・PCR 検査検体採取・

<目的>

院内におけるPCR検査は、入院もしくは転院の患者が新型コロナウイルスを院外から持ち込み院内感染を発生させることを予防する目的で実施する。病棟間の交差を避ける目的で病棟内のスタッフが行う。原則としては主治医又は当該病棟に勤務する看護師が施行することとする。

<準備>

1、検体採取する場所ではできるだけ換気の良い個室の環境下を準備する（コホートが不可能な場合は屋外、大部屋の場合は窓際かつカーテン隔離やパーテーションを使用）

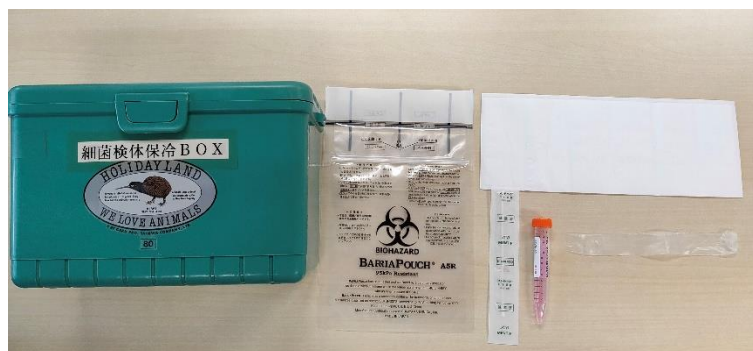
2、検査室へ連絡し物品を取りに行く

※平日：9：00～17：00

休日の場合は検査室入口の右側の棚にあるものを使用する

（検体スピッツ（ぬぐいは冷蔵庫扉ポケット内・唾液は棚）、スワブ、テープ、ポケット、ハザードマーク付き袋、保冷box、冷凍庫より保冷剤）

3、病棟で患者名の入ったラベルを3枚発行する



<環境および事前準備>

3、検体採取者、介助者AはPPEを着用する 介助者Bはプラスチック手袋を着用し、清潔エリアで待機する

4、患者はサージカルマスク・フェイスシールドを着用する

<実施>

5、患者の病室にスワブ、ラベルを貼ったスピッツ、テープを持参する

※ラベルはスピッツに元から貼付してあるラベルの上に貼る（中身が見えるように）

6、実施者は患者の鼻腔にスワブを折れ線まで挿入し、鼻腔粘膜にスワブが触れるように一回転させる（患者の体動が激しい場合は介助者Aが抑える）

※唾液検体の場合は患者にスピッツを渡し、唾液を入れてもらう（以降同様の手順で実施）

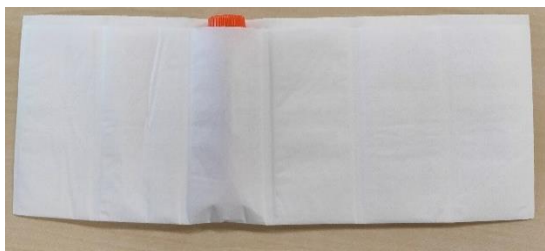
7、検体採取終了後実施者は折れ線に合わせてスワブを折り、介助者が持っているスピッツの外側に触れないようにスワブを入れる

8、介助者は保存液が漏れないようスピッツのフタを閉め、テープを引っ張りながらフタと本体に巻き付ける



テープは伸ばしながら巻き付けることで止まるため、フィルム等はありません
切る時は引きちぎる

- 9、介助者 A はアウター手袋を交換し、スピッツの表面をアルコール入り消毒クロスで拭き上げる
- 10、介助者 B は清潔エリア側にポケットを準備して待機する、介助者 B はスピッツが他の場所に触れないようにポケット内に検体を受け取る



- 11、清潔エリア側で介助者 B はポケットごとハザードマーク付きの袋に入れ、チャックを閉めラベルを貼



ラベルは袋のどこに貼っても良い
分かりやすい場所に貼る

- 12、介助者 B はさらにその上から透明のビニール袋に検体を入れ、残りのラベルと共に検査室へ持参する
- ※休日の場合は保冷剤の入った保冷 box にビニール袋ごと検体を入れ、翌日検査室へ持参する

- 13、検査実施者、介助者 A は PPE を正しく脱衣し、直ちに適切な方法で処理する

※PPE の着脱方法については個人に配布した PPE 着脱手順書を参照



※当日の検体回収は 13 : 00 までであり 13 : 00 以降に採取したものはすぐに持参せずに検査室へ電話確認行う